

ハザードマップについて

ハザードマップは、洪水・土砂災害・津波・高潮を対象に、災害が発生するおそれのある危険区域を地図上に示したものです。ハザードマップに示されていない区域においても、被害が発生する可能性があるため、周囲の状況や防災気象情報に注意して、早め早めの行動を心がけてください。

洪水浸水想定区域

想定最大規模(L2)

長崎県が作成した、「想定し得る最大規模の降雨」により河川が氾濫した場合の浸水範囲、浸水した場合に想定される水深を示しています。

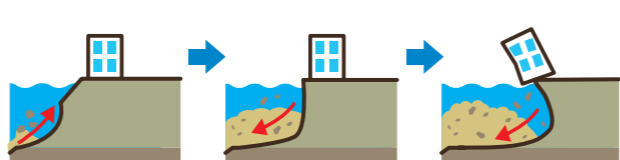
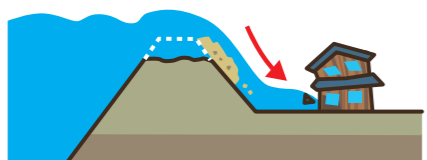
作成主体	水系	河川名	前提となる降雨	作成年月日	家屋倒壊等氾濫想定区域
長崎県 県央振興局	郡川	郡川	流域全体に24時間総雨量850mm、ピーク時の1時間に156mmの降雨がある場合	平成30年 8月21日	○
		佐奈河内川、南河内川	流域全体にピーク時の1時間に155.7mmの降雨がある場合		
	よし川	よし川	流域全体にピーク時の1時間に208.0mmの降雨がある場合	令和6年 3月22日	
	鈴田川	鈴田川、小川内川、 稲河内川、針尾川			
	大上戸川	大上戸川	大上戸川及び内田川流域12時間総雨量935mm	令和元年 3月22日	○
	藤の川				
内田川	内田川		○		
東大川	東大川	東大川流域全体に24時間の総雨量1,094mm	令和6年 6月21日		
	今村川	流域全体にピーク時の1時間に198.9mmの降雨がある場合			

家屋倒壊等氾濫想定区域(早期の立退き避難が必要な区域)

想定最大規模の洪水浸水想定区域をもとに、家屋倒壊等をもたらすような氾濫の発生が予想される区域を示したものです。

氾濫流

河岸侵食

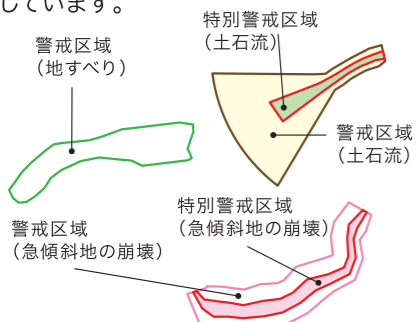


木造家屋が倒壊するような堤防決壊等に伴う激しい流れが想定され、早期の立退き避難が必要な区域

堤防や家屋の基礎を支える地盤が激しい川の流れて削られ、木造・非木造の家屋倒壊が想定され、早期の立退き避難が必要な区域

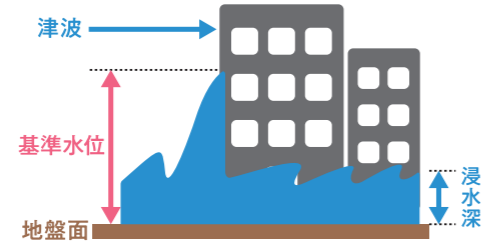
土砂災害警戒区域等

長崎県が令和8年3月現在で告示している「急傾斜地の崩壊」、「土石流」、「地すべり」の土砂災害警戒区域等を示しています。



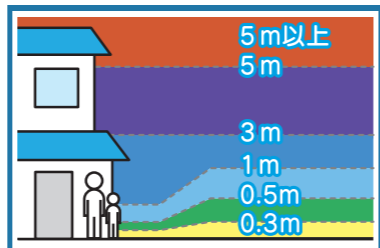
津波災害警戒区域

「津波浸水想定」をもとに、津波による人的災害を防止するために警戒避難体制を特に整備すべき区域として、長崎県が平成29年3月に作成したものです。ハザードマップには「基準水位」として示しており、津波浸水想定に定める浸水深に、建物等への衝突によるせき上げ高を考慮した水位を示しています。

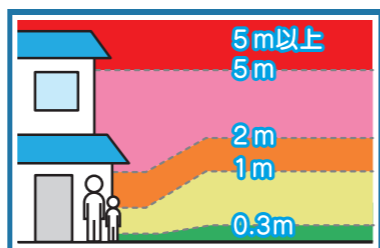


浸水深の目安

洪水浸水想定区域、高潮浸水想定区域



津波災害警戒区域

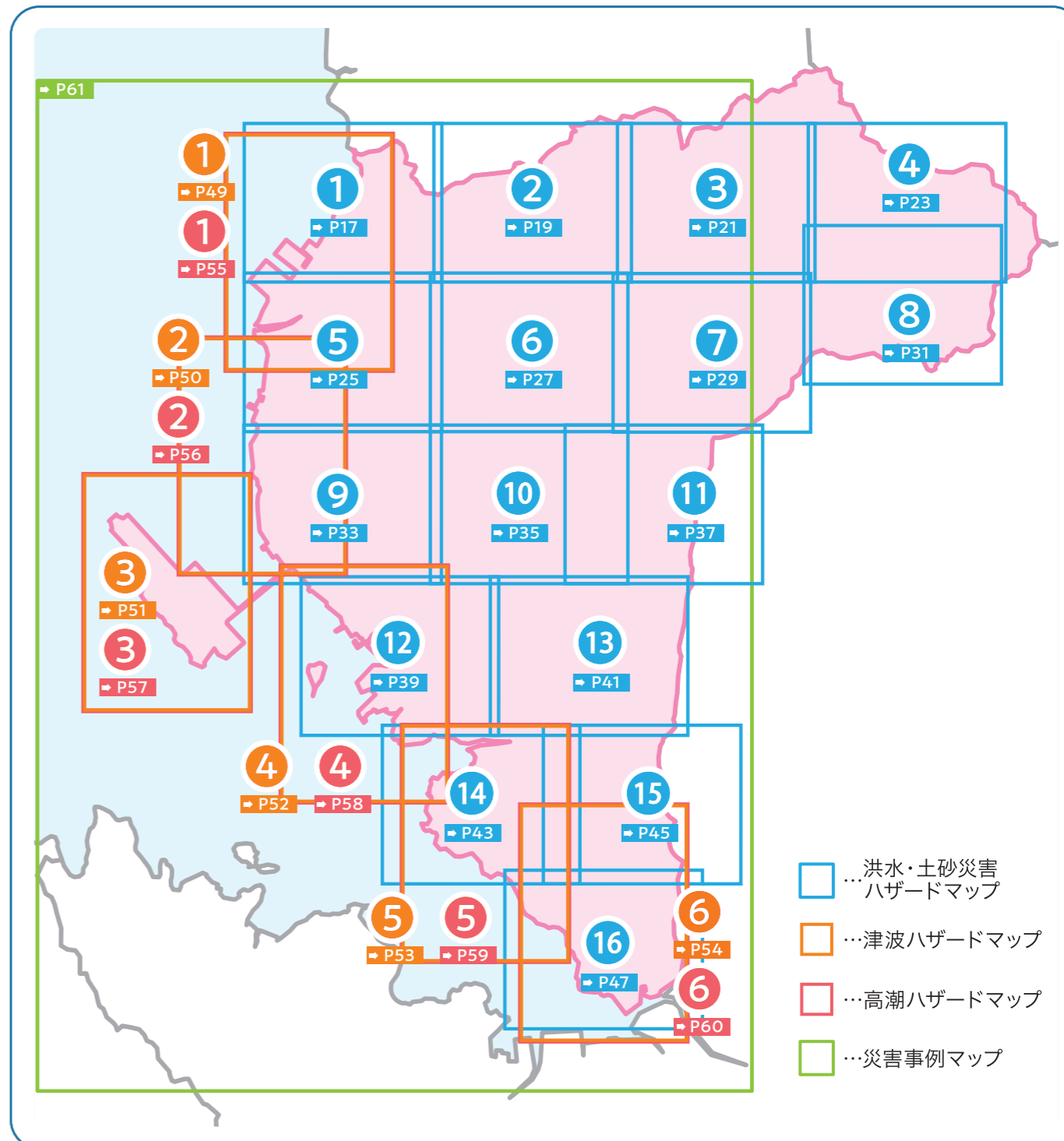


高潮浸水想定区域

長崎県が令和7年2月に作成した「想定される最大規模の高潮」を前提とした区域を示しています。高潮浸水想定区域図の作成にあたっては、最悪の条件が重なることを前提としてシミュレーションしたものです。

- 中心気圧:900hPa(室戸台風規模)
- 台風の半径:75km(伊勢湾台風規模)
- 移動速度:73km/h(伊勢湾台風規模)50,40,30,20,10km/h(移動速度が遅い場合の波浪影響を考慮するため)

索引図



- ...洪水・土砂災害ハザードマップ
- ...津波ハザードマップ
- ...高潮ハザードマップ
- ...災害事例マップ

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。「測量法に基づく国土地理院長承認(使用)R 7JHs 330」

まるごとまちごとハザードマップ

「まるごとまちごとハザードマップ」とは、これまでの浸水実績や河川が氾濫した場合の想定浸水深などの情報を、標識として生活空間である「まちなか」に表示する取り組みです。

日常時から水防災への意識を高めるとともに、浸水深・避難所などの知識の普及・浸透などを図り、発災時には命を守るための市民の皆さんの主体的な避難行動を促し、被害を最小限にとどめることを目的としています。

大村市ホームページでは、「まるごとまちごとハザードマップ」の設置例や設置場所を確認できます。

まるごとまちごとハザードマップ



洪水想定浸水深
Flood Water Depth (Projected)

1.0m

大雨で大上戸川・内田川が氾濫すると、この場所では最大1.0m浸水する可能性があります

大村市 / Omura City